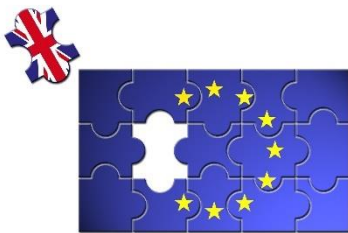


欧州からのニュース

Brexit(ブレグジット)

1973年に欧州経済共同体（EEC）に加盟したイギリスが、今年6月23日に国民投票を行い、欧州連合（EU）からの脱退が決定した。1975年に行われた国民投票（EU残留賛成率約67%）に続いて今回は2回目の国民投票だった（同48%）。国民投票直後には株式市場や外貨市場は影響を受けたが、その後はほぼ回復し、安定してきている。正式な脱退までの今後の流れとして、まずイギリスが正式にEUに対して脱退申請し、その後、EU加盟国と今後の経済関係などの契約についての交渉に入る。実際の脱退までには少なくとも2年はかかる見込みだ。その間、イギリスにおいてもEUの契約や法律が有効であるが、イギリスはEUに関わる政策決定権がなくなる。今回のBrexit(ブレグジット)は、ヨーロッパ全体の経済や労働市場などに影響が及んでいるが、どの程度になるかは、今後交渉する契約内容などの複合的な事情次第である。



ドイツの見本市会社「メッセ」への影響は？

ドイツ見本市協会（AUMA）が国際見本市を主催するドイツ見本市協会に実施した調査結果によると、ドイツ見本市協会はBrexit（ブレグジット）によるイギリスからの出展者数や来場者数に対する影響は少ないと見込んでいる。ドイツで開催される国際メッセには、イギリスから年間約5,400社の出展者、140,000人の来場者が参加し、国際比較でトップ5の国の一つである。今後、イギリス経済が不景気に陥ったり、非関税障壁をもうけたりすると、イギリスからの参加が低下する可能性が考えられるが、大幅の低下は見込まれていないという。

出典：

2016年6月25日付 Trade Fairs International (www.trade-fairs-international.com)

2016年7月5日付 Tagesschau (www.tagesschau.de)



西濃シエンカー株式会社
デュッセルドルフ展示会
指定公式運送業者

詳しくは[こちらへ](#)

見本市期間中、デュッセルドルフ市内の
ホテルを多数確保！
日程、ご予算に合わせて見積いたします。
出展・視察の際はぜひお問い合わせください。

デュッセルドルフだけでなく、
ケルン、ハノーバー、フランクフルト、ミュンヘン
のホテル及び航空券も扱っております。

www.imi-messe.co.jp
TEL:03-3592-1555
株式会社アイ・エム・アイ

IMIドイツ見本市専門旅行会社
ホテルのことならお任せください



NOI ブースデザイン、施工のことは
NOIにおまかせください

Messebau weltweit seit 1983

**ESSJ 2016 - エナジー・ストレージ・サミット・
ジャパンまで約 4 ヶ月**



会期は 11 月 8 日から

今年で 3 回目の開催となる ESSJ まで後 4 ヶ月。今年は昨年が増えてアップデートなテーマを取り上げます。

11 月 8 日（火）の国際会議ではエネルギー貯蔵における政策、ビジネスモデルやビジネスチャンスの国際比較をテーマにエネルギー貯蔵の先進国であるドイツや北米と比較し、これから発展する国の事例などを紹介します。本年 4 月に電力自由化が行われた昨今、実際の電力市場がどのように変化し、どのようなビジネスモデルが生まれ、またどのように変遷していくかを掘り下げます。

11 月 9 日（水）は「スマート・シティ」「蓄熱」「水素/燃料電池」「E モビリティ」の 4 つのテーマに注目し、インフラや最新技術、それぞれのビジネスモデルについてなど、様々な角度から見たエネルギー貯蔵のノウハウを、企業・団体を代表する方々が発表します。当展示会・国際会議は各セッションごとに 30 分の休憩を設定し、そこで出展者と国際会議の参加者が商談できる仕組みとしています。ESSJ で得た知識とネットワークで、マーケットチャンスをつかみ、貴社のエネルギー貯蔵市場の拡大のためにお役立ていただけます。



好評のサイト・ビジット・ツアーを今年も実施

また、11 月 10 日（木）のサイト・ビジット・ツアーは東京近郊のスマート・シティ施設¹、住友電気工業株式会社のメガワット級大規模蓄発電システム、ホンダのスマート水素ステーション（SHS）を見学します。是非とも参加ご検討ください。参加定員は国際会議の参加者様より 20 名様（先着順）とさせていただきますのでご了承下さい。詳しいプログラムは [こちら](#) をご覧下さい。

今年の ESSJ ご参加を既に検討されている方は 8 月末までの 10% 早期割引を是非ご活用下さい！ 会議・ツアー参加のお申し込みは [こちら](#) から！

国際ビジネスをお考えなら必須！ ご出展お申込は [こちら](#) ！

（担当： [永田](#)）

¹ 東京近郊のスマート・シティ施設の見学場所は現在調整中です。

drupa 2016 – 開催報告

去る 5 月 31 日から独・デュッセルドルフで行われた『drupa 2016 – 国際印刷・メディア産業展』は、事前の期待を超えた高い投資熱が後押しし、盛況裡のうちに 11 日間の会期を終えた。デュッセルドルフ見本市会場 19 ホールに、世界 54 か国から 1,837 もの出展者が、188 か国およそ 260,000 人の業界関係者を迎えた。特筆すべきは、その国際性で、来場者においては、ドイツ国外からの割合が 76%に達している。その要因は、アジア地域からで、インドが全体の 5%を、中国が同 3%に相当する来場数を記録している。

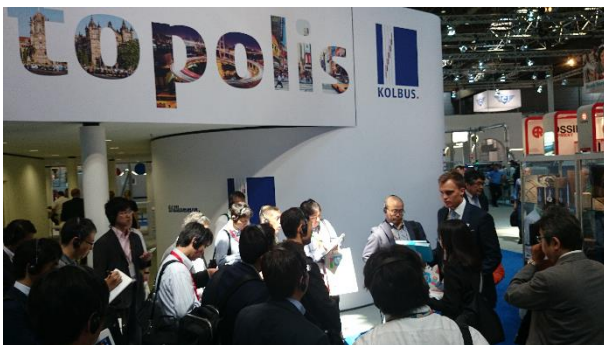


会期中、見本市会場内はもとより、デュッセルドルフ市内においても、豊富かつ多彩な併催専門プログラムが行われ、参加者から高評価を得た。なかでも、特に注目が高く、反響が大きかったのは、『drupa cube』、『drupa innovation park (dip!)』、そして『drupacity』だった。

次回の drupa は、会期中に発表がなされたとおり、2020 年 6 月 23 日(火)～7 月 3 日(金)に開催される。・・・drupa 2016 ファイナル・レポート全文(日本語)は[こちら](#)

Japan Day

日本からのお客様に、視察の成果を最大限に挙げていただく一助として、MDJ は、会期中の 6 月 7 日(火)を『Japan Day』とし、会場巡回ハイライトツアー、現地セミナー、懇親会と、計 3 つのプログラムを行った。



会場巡回ハイライトツアー 業界注目のテーマを取り上げ、それに副った出展者のブースを訪問、各社からプレゼンテーションを受けるもので、今回は、プリント 4.0 と包装印刷、プリント 4.0 と未来技術(=3D 印刷、機能性印刷など)の 2 本を実施した。

現地セミナー ドイツ・欧州の業界、そして企業の動向・関心事など、日本の関係者にご興味を持っていただけるトピックスについて、ドイツ機械工業連盟(VDMA)をはじめ、ドイツ・欧州の業界団体や企業から講師を招き、開催した。(担当: 橋木)

太陽光発電力の比率が 2030 年までに 6 倍以上に増加

国際再生可能エネルギー協会 IRENA の最新の調査によりますと、太陽光発電装置で発電されるエネルギーの比率は、全世界で発電される電力の 2% から、2030 年までに 13% まで増加する、と予想され、これは 6.5 倍程度に相当します。

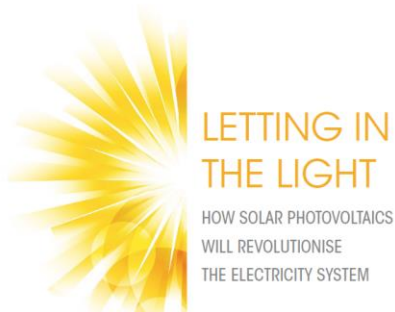
発電装置の数で分析しますと、他装置に比べ、ソーラーは既に数量で一番であり、新しく設置される装置の中で 20% のシェアを占めています。ソーラー（製造）産業は既に重要産業の位置づけであり、280 万人の雇用を提供しています。投資額から見ますと、ソーラーは現時点で再生可能エネルギーに投資される額の約半分を占めます。2015 年だけでも、ユーティリティー・スケールやオフ・グリッド・アプリケーションを含める PV 発電装置は約 1,600 億ドルに達したとのこと。

成長を発電のキャパシティーで表現すると、現時点の 227GW から 2030 年までには 1,760 ~ 2,500GW まで伸びる可能性があります。その成長の主な要因は、特に装置のコスト削減にあります。調査によると、今後 10 年間、PV 発電のコストが 59% 程度減少すると予想されています。この予想は決してファンタジーではありません。現時点では欧州、中国、米国などでは 1 kWh 当たりの PV 発電のコストは 5~10 セントですが、2016 年 5 月、ドバイで行われた入札では 3 セントのオファーがありました。

IRENA の調査（英語版）は、下記のリンクでダウンロード可能です：



[http://www.irena.org/DocumentDownloads/
Publications/IRENA Letting in the
_Light_2016.pdf](http://www.irena.org/DocumentDownloads/Publications/IRENA_Letting_in_the_Light_2016.pdf)



再生可能エネルギー発電のコストが 2015 年までに 59% まで減少する可能性がある、と説明する関連調査は下記のリンクでダウンロード可能です：

[http://www.irena.org/DocumentDownloads/
Publications/IRENA Power to Change 2016.pdf](http://www.irena.org/DocumentDownloads/Publications/IRENA_Power_to_Change_2016.pdf)

出典: <http://www.irena.org> のサイト

デュッセルドルフ エンタメガイド

今号ではデュッセルドルフご滞在中に是非一度ご経験いただきたい、デュッセルドルフ・シティツアー“Hop On Hop Off”をご紹介します。

いつも会場とホテルとの往復でご覧になる街を、見本市でのお仕事の合間に視点を変えて経験なさるのはいかがでしょうか。



シティツアーの赤いバス。2階建てのこの専用バスは、お天気がよい日は、2階席はオープンカーになります。車内ではヘッドフォンで日本語でのガイドを聞くこともできます。

ツアーは約90分。巡回中に8か所停車しますが、各駐車場で降りて散策なさっても次のバスに乗り継ぐことができます。3月25日から10月30日までは30分に1本、10月30日から12月23日までは1時間に一本発車します。

時刻表と巡回ルートは[こちら](#)からダウンロードしていただけます。

巡回ルートの中の3番に当たるBURGPLATZ/ALTSTADTからは、3月25日から10月30日まで10:30、12:00、13:30、15:00、16:30の5回、遊覧船に乗り継ぐことができます。遊覧船はデュッセルドルフ・メディアポートに向かい、ライン川から見るデュッセルドルフを楽しんでいただく約1時間の船の旅ですが、再び乗船されたところに戻りますので、次のバスを待って引き続き遊覧バスで街を見学していただけます。

切符の種類

ワンデイ・チケットは、15ユーロでその日一日ご利用いただけます。時間の許す限り乗降は何度でも可能です。船に乗る方は、乗船前に9.80ユーロで乗船券をお求めください。ツーデイ・チケット（コンビチケット）は、21ユーロで乗船券も込みになっています。

切符の購入方法

前売り乗車券は、デュッセルドルフ中央駅前のツーリスト・インフォメーション、旧市街区のツーリスト・インフォメーション、[オンライン](#) またはバスの運転手さんから購入していただけます。初乗りの場所は表記されているどの停留所からでも可能で、チケットを運転手さんから購入してください。その際は現金をご用意ください。

デュッセルドルフ・シティツアーについてのご案内は[こちら](#)から英語版でご覧いただけます。[こちら](#)はドイツ語の紹介ビデオです。

人気輸出アイテム「メッセ」

よく知られているように、ドイツは日本と同様、輸出大国です。自動車、機械など、輸出の主力アイテムに関して、両国の強さがかなり似ています。しかし、一つの分野において、ドイツは疑問なくリードを取っています：それはメッセ（見本市）の国際化です。ほとんどのドイツのメッセ会社は、本国で開催するメッセの「挿し木」を可能性のある市場、国で開催しています。つまりメッセの海外輸出です。

例を挙げますと、

- ・ 医療機器展のリーディング・フェアである「MEDICA」（メッセ・デュッセルドルフ開催）と同じコンセプトで、米国、ブラジル、ロシア、タイ、シンガポール、インドなど、海外6か国で医療機器展開催。
- ・ 建設機械展ナンバーワンとして世界が認める「bauma」（メッセ・ミュンヘン開催）と同じコンセプトを利用し、インド、中国、ロシアと南アフリカで展示会を開催。

ドイツ見本見本市協会 AUMA の統計によりますと、ドイツの見本市会社が海外で開催したメッセの数は、2010年に比べ3分の1程度増加し、303メッセとなりました。そのメッセに参加した出展者数は2010年比、約43%増加し、124,238社に達しました。ビジター数は、同2010年比、約39%の増加で、733万に達しました。地域別で見ますと、ドイツの見本市会社が一番力を入れてメッセ開催をしている地域は東南アジア（53%）であり、2位は欧州連合以外のヨーロッパ（22%）です。次いで、北米、南米、中近東とアフリカとなります。

もちろん、このようなビジネス展開は現地のネットワークなしに実現できません。多くのドイツのメッセ会社は海外に子会社を設立し、活動します。日本の事例をあげますと、メッセ・デュッセルドルフ以外に、フランクフルトとケルン・メッセの子会社があります（その他のメッセ会社は、代表部の事務所を利用し営業しています）。日本で開催されるメッセの事例として、

- ・ エネルギー市場の自由化などをきっかけとした弊社開催の「エネルギー・ストレージ・サミット」（<http://essj.messe-dus.co.jp>）（14か国・160社の参加者。出展募集中）
- ・ フランクフルトのメサゴ主催の「InteriorLifestyle」またはニュルンベルグ・メッセが開催する「BioFach」

があげられます。やはり、ドイツのメッセは「輸出の宝」と言えます！

出典：2016年4月22日付け AUMA Compact

来場者向け情報

現地の交通案内、デュッセルドルフ市内地図やレストラン・ガイドなどについての情報は [こちら](#) をご覧下さい。

iPhone などアップル製モバイル機器ご利用の方に、出展者や製品検索に「[Messe Düsseldorf App](#)」をお勧めします。AppStore で「messe」を検索して下さい。

MEDICAL FAIR ASIA 2016 — 東南アジア医療機器展



MEDICAL MANUFACTURING ASIA 2016 — 東南アジア医療機器技術部品展

2016年8月31日～9月2日（シンガポール）



メッセ・デュッセルドルフ・グループが開催するシンガポールでの医療機器展と部品展（隔年開催）。日本から40社以上が出展。前回ファイナル・レポートは [こちら](#)。入場の事前登録は [こちら](#)。会場は今回よりマリナ・ベイ・サンズです。（担当：服部）

INDOPLAS + INDOPACK + INDOPRINT 2016



インドネシア国際プラスチック・ゴム・包装・印刷産業展

2016年9月7日～10日（インドネシア・ジャカルタ）



メッセ・デュッセルドルフグループが、共催として加わってから2回目となる [INDOPLAS](#) - [INDOPACK](#) - [INDOPRINT](#) は、インドネシアの各業界の現況がつかめ、これからを見通せる、非常に効果的な専門メッセです。貴社のインドネシア・ASEAN 戦略の一助として、視察をぜひご検討ください。（担当：橋木）

glasstec 2016 – 国際ガラス製造・加工機材展



（2016年9月21日～24日）



glasstec は、「機械・プラント」、「製造・加工・仕上げ」、「工芸」、「建築・建設」、「窓・ファサード」、「そして「ソーラー」の6分野に出展製品が大別されており、目的の製品・技術を効率的にご視察いただけます。ご視察の準備はお早めに！ [入場券販売](#) [ツアー情報](#) [渡航宿泊お問合せ](#)（担当：ユング）

wire China & Tube China 2016

中国国際ワイヤー産業展 / 中国国際管材製造加工・技術展



wire Tube 2016年9月26日-29日



デュッセルドルフ開催「wire / Tube」展を中国市場へ適用させ、中国・東アジアで業界をリードする専門メッセへと成長して参りました。事前登録されると、現地でカタログを無料で提供します。

事前登録：[wireChina](#) ⇒ [TubeChina](#) ⇒

(担当：ユング)

REHACARE 2016—国際介護・福祉機器展

(9月28日～10月1日)



福祉先進国のドイツで開催される世界最大の介護、福祉機器をご覧いただける同展では最先端の介護、福祉機器の情報収集、買い付けが可能です。前回のファイナルレポートは[こちら](#)。入場券購入は[こちら](#)。専門性の高い視察ツアーは[こちら](#)。過去最高、日本出展8社は[こちら](#)。

(担当：服部)

K 2016 – 国際プラスチック・ゴム産業展

2016年10月19日～26日



最新のプラスチック・ゴム原料・製品・機械・技術が集結する K 2016 会期まで、およそ3か月と迫って参りました。弊社では、『K 2016 入場券コード』を代行販売するほか、会期中の10月24日(月)には、前回も好評をいただきました『[ジャパン・デー](#)』を開催致します。入場券販売、『[ジャパン・デー](#)』、ならびにご視察につき、ご相談などございましたら、[お早めにご連絡下さい](#)ますよう、よろしくお願い致します。

(担当：橋木)

上記以外の開催間近のメッセ情報につきましては [MDJ ウェブサイト](#) をご覧いただくか、[こちら](#)よりお問い合わせください。

出展者募集中のメッセ

indometal 2016 – 東南アジア国際金属・スチール製造・技術展



2016年10月25日～27日（インドネシア・ジャカルタ）



デュッセルドルフ開催の鋳造・冶金・金属産業メッセ運営のノウハウをもとに、indometal を主催しています。ASEAN 経済圏における鉄・非鉄金属需要の増大が今後も見込まれ、アジア戦略の一つとしてぜひ indometal の出展ご検討下さい。各種ご案内は[こちら](#)から。（担当：ユング）

ESSJ 2016 – エナジー・ストレージ・サミット・ジャパン



2016年11月8日～9日（東京）



福島県様、環境省様にもご後援頂きます。出展スペースはなくなり次第終了となりますので、お早めに以下の[専用サイト](#)からお申し込みをどうぞ！毎週金曜日に発信されます[エネルギーNEWS](#)もお見逃しなく。（担当：永田）

ProWein 2017 – 国際ワイン・アルコール飲料展



（2017年3月19日～21日）



当展示会は、高い国際性が最大ポイントです：出展者は59カ国から6200社、専門バイヤー（ビジター）は126カ国から55,000人。日本のワイン、日本酒を海外に販売するには、最も適切なイベントです！[ジャパン・パビリオン](#)「[Taste of Japan](#)」を設置するので、参加が簡単です！（担当：メルケ）

BEAUTY DÜSSELDORF 2017



国際コスメ・ネイル・フットケア・ウェルネス・スパ展

2017年3月31日～4月2日



BEAUTY DÜSSELDORF は、毎年春先に行われる、歴史と実績ある専門メッセとして、ドイツ・欧州に定着しています。それを示すように、本年3月回到に1,500もの企業・ブランドが出展、およそ55,000人が来場し、活発な商談が行われました。併催プログラムも充実の本メッセで、貴社の製品を効果的にアピールしてみませんか？ 出展のご相談は[こちら](#)から（担当：村上・橋木）

TOP HAIR DÜSSELDORF 2017 – 国際理美容展・会議・ヘアショー



2017年4月1日～2日



TOP HAIR DÜSSELDORF は、理美容鋏、剃刀、理美容椅子、ならびに業務用シャンプー・トリートメントなど、理美容師、サロン経営者らが必要とする製品・機器が勢ぞろいし、著名なアートディレクターがその腕前を存分に披露する併催プログラムも充実の、非常に専門性の高いメッセです。

2日間で30,000もの関係者が来場する業界最高峰イベントへのご参加を、貴社のビジネスにぜひご活用ください！！
出展のご相談は[こちら](#)から（担当：村上・橋木）

interplastica 2017 – ロシア国際プラスチック・ゴム産業展



upakovka 2017 – ロシア国際包装産業展

2017年1月24日～27日（ロシア・モスクワ）



upakovka
PROCESSING & PACKAGING

第20回目を迎える [interplastica](#) – 国際プラスチック・ゴム産業展、そして第25回開催となる [upakovka](#) – 国際包装産業展は次回、来年1月末にモスクワにて行われます。同国+周辺諸国

への市場参入の決定版として、両メッセへの出展を、ぜひご検討ください。（担当：橋木）

A+A 2017 / 国際労働安全機材技術展



2017年10月17日～20日



31回目となる労働安全+労働衛生の世界業界No.1メッセA+Aは出展申込が開始となりました。今回も過去最高の開催規模を予定、日本からの出展者も前回の15社を上回る見込み。出展募集ご案内は[こちら](#)を。前回のファイナル・レポートは[こちら](#)。出展申込締切は12月1日です。（担当：服部）

上記以外の出展者募集情報につきましては [MDJ ウェブサイト](#) をご覧いただくか、[こちら](#) よりお問い合わせください。

編集・広告に関する問い合わせ先：



(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニ ガーデンコート7F
Tel.:03-5210-9951 Fax:03-5210-9959
Mail:info@messe-dus.co.jp
Web:www.messe-dus.co.jp